



箭山

夢実現

自ら学び

仲間と共に

未来を拓く生徒の育成

三光中通信

第5号

令和7年6月24日(火)

校長 今長 博文

「命を守る行動」について考えよう

毎年、梅雨時期になると、大雨による災害や水の事故のニュースが入ってきます。今月11日には三光地区にも避難所が開設され、翌日が臨時休校となりました。また、18日には、兵庫県姫路市で中学校2年生が川で遊んでいて深みにはまり、亡くなるという事故がありました。毎年繰り返される事故に対して、今一度、「命を守る行動」とはどんなことを真剣に考えてもらいたいと思います。私は過去に中津市であった事故についても、みなさんに伝えておきたいと思い、毎年、学校通信に載せています。以下に紹介する事故について、自分事としてとらえ、考え、行動してもらいたいと思います。

* 2014年7月28日～山国川で中学2年男子生徒が溺れ、近くにいた人に救助されたが、意識不明。

ドクターヘリで運ばれ、数週間の治療を経て一命を取り留めた。

* 2004年7月18日～山国川で小学校4年生が流され、40分後に発見されたが亡くなった。

* 2002年6月22日～中津田尻港で中学3年生が堤防から転落し、レスキュー隊が出動して引き上げるも病院で亡くなった。

水難事故だけでなく、自転車事故で中津市の中学生が亡くなる事故も過去にありました。

* 2004年7月17日～八面山の下り坂で自転車を二人乗りしていた中学2年女子生徒が転倒し、後部に乗っていた生徒が頭部を打って亡くなった。ヘルメットはしていなかった。

どの事故も一人ではなく、仲間ともに遊んでいて起きています。仲間がいると開放的な気持ちになり、「これくらいは大丈夫だろう」という油断が生まれてしまいがちです。一瞬の油断でたった一つの大切な命を亡くしてしまいます。仲の良い友だちが帰らぬ人となってしまう。胸が引き裂かれるほど悲しいことです。「命の大切さ」「自然の怖さ」を自分のこととして真剣に受け止め、考えて行動してください。日差しが強く、気温が上がってきます。涼を求めて川に近づくことがあるかもしれません。しかし、遊泳禁止の看板がなくても、川での水遊びや泳ぎは危険です。絶対にやめましょう。災害時だけでなく、日常の生活の中でも「命を守る行動を」ということを意識して、過ごしてほしいと願っています。



朝食をしっかりとり、熱中症を防ごう！

先月の生徒アンケートではほとんどの生徒が朝食を食べていると答えていましたが、食べていないという生徒も3%ほどいました。人間が一日に必要とする水分の半分は食事からとっているそうです。朝食を食べないと脱水状態で勉強や運動のパフォーマンスが下がり、熱中症の危険性が高まります。睡眠中にかいた汗はおよそコップ1杯分です。朝食を「命を守る行動」の一つとしてしっかりと取りましょう。

